様式第２号の１－①【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第２号の１－②を用いること。

学校名	苫小牧工業高等専門学校
設置者名	独立行政法人国立高等専門学校機構

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数 全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計	省令で定める基準単位数	配置困難
	創造工学科（機械系）	~~夜・通信~~	0	14	14	28	7	
	創造工学科（都市・環境系）	~~夜・通信~~			33	47	7	
	創造工学科（応用化学・生物系）	~~夜・通信~~			8	22	7	
	創造工学科（電気電子系）	~~夜・通信~~			8	22	7	
	創造工学科（情報科学・工学系）	~~夜・通信~~			11	25	7	
	創造工学専攻（機械系）	~~夜・通信~~		8	8	16	7	
	創造工学専攻（都市・環境系）	~~夜・通信~~			8	16	7	
	創造工学専攻（応用化学・生物系）	~~夜・通信~~			2	10	7	
	創造工学専攻（情報エレクトロニクス系）	~~夜・通信~~			6	14	7	
（備考）								

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://syllabus.kosen-k.go.jp/Pages/PublicDepartments?school_id=02&lang=ja
※創造工学科各系・創造工学専攻の「開講科目一覧」ページに掲載

３．要件を満たすことが困難である学部等

学部等名

（困難である理由）

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※　国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	苫小牧工業高等専門学校
設置者名	独立行政法人国立高等専門学校機構

１．理事（役員）名簿の公表方法

ホームページにて公表 https://www.kosen-k.go.jp/Portals/0/upload-file%20folder/02_%E4%BA%BA%E4%BA%8B/kisoku/yakuin-20221016.pdf

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
常勤	熊本大学長	2016 年 4 月 1 日 ～2024 年 3 月 31 日	理事長
常勤	豊橋技術科学大学理事・副学長	2020 年 4 月 1 日 ～2024 年 3 月 31 日	国際交流･海外展開 情報システム
非常勤	東京大学教授	2022 年 4 月 1 日 ～2024 年 3 月 31 日	男女共同参画
（備考）			

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	苫小牧工業高等専門学校
設置者名	独立行政法人国立高等専門学校機構

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書（シラバス）を作成し、公表していること。	
（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要） 教務委員会の指導の下、科目担当教員が授業計画（シラバス）を１１月～１２月頃作成し、１月頃ウェブ上で公開している。公開内容には授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準等の事項が含まれ、公開された内容に従って授業が進められている。	
授業計画書の公表方法	https://syllabus.kosen-k.go.jp/Pages/PublicDepartments?school_id=02&lang=ja
２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要） 科目ごとの成績評価の基準は１．の通り事前に公開されており、本校「学業成績の評価並びに課程の修了及び卒業の認定に関する規程」及び本校「専攻科の授業科目の履修に関する規程」に則って履修の認定並びに単位の認定が行われている。	

<table>
<tr><td colspan="2">３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</td></tr>
<tr><td colspan="2">（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要）
本校では学生の成績評価の客観的な指標として以下の通りの算出方法でクラス内（１年生のみ学年全体）での席次を算出している。
・全ての履修科目の評価点の平均点により、クラスの成績順位付けを行っている。なお、必修科目については、全て履修科目数に含め、そのうち欠席が多く「未履修」となった科目は評価点を「０点」とみなして計算している。（令和２年度以降に入学した学生についてはＧＰＡにより順位付けしている。）

算出方法については学期末に各家庭へ向けて発送する「学業成績通知書」の通知文書に記載およびホームページで公表している。</td></tr>
<tr><td>客観的な指標の
算出方法の公表方法</td><td>https://www.tomakomai-ct.ac.jp/dep/syllabus</td></tr>
<tr><td colspan="2">４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</td></tr>
<tr><td colspan="2">（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要）
本校では学生が身につけるべき能力として、学習目標やディプロマ・ポリシーを設定し、ホームページ等で広く公表している。
卒業及び修了は、ディプロマ・ポリシー、学則並びに本校「学業成績の評価並びに課程の修了及び卒業の認定に関する規程」及び本校「専攻科の授業科目の履修に関する規程」の卒業・修了要件を踏まえ、卒業・修了判定会議を開催の上、校長が卒業・修了を認定している。</td></tr>
<tr><td>卒業の認定に関する
方針の公表方法</td><td>ディプロマ・ポリシー
https://www.tomakomai-ct.ac.jp/outline/purpose/purpose1
第５章 教務・学生　〇苫小牧工業高等専門学校学業成績の評価並びに課程の修了及び卒業の認定に関する規程
https://www.tomakomai-ct.ac.jp/outline/kitei</td></tr>
</table>

様式第２号の４－①【⑷財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第２号の４－②を用いること。

学校名	苫小牧工業高等専門学校
設置者名	独立行政法人国立高等専門学校機構

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.kosen-k.go.jp/Portals/0/resources/documents/zaimusyohyoR3.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://www.kosen-k.go.jp/Portals/0/resources/documents/zaimusyohyoR3.pdf
財産目録	
事業報告書	https://www.kosen-k.go.jp/Portals/0/resources/information/R3jigyouhoukoku.pdf
監事による監査報告（書）	https://www.kosen-k.go.jp/Portals/0/resources/information/kansaR3.pdf

２．事業計画（任意記載事項）

単年度計画（名称：独立行政法人国立高等専門学校機構の年度計画　対象年度：令和５年度）
公表方法：https://www.kosen-k.go.jp/Portals/0/upload-file%20folder/01_%E7%B7%8F%E5%8B%99/r5-keikaku.pdf
中長期計画（名称：独立行政法人国立高等専門学校機構の中期計画　対象年度：平成 31 年（2019 年）4 月 1 日から令和 6 年（2024 年）3 月 31 日まで）
公表方法：https://www.kosen-k.go.jp/Portals/0/upload-file%20folder/01_%E7%B7%8F%E5%8B%99/4th-keikaku.pdf

３．教育活動に係る情報

（１）自己点検・評価の結果

公表方法：https://www.tomakomai-ct.ac.jp/outline/assessment

（２）認証評価の結果（任意記載事項）

公表方法：https://www.tomakomai-ct.ac.jp/outline/steering

（３）学校教育法施行規則第 172 条の２第１項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名　創造工学科
教育研究上の目的（公表方法：https://www.tomakomai-ct.ac.jp/outline/purpose/purpose1 , https://www.tomakomai-ct.ac.jp/outline/purpose/honpurpose）
（概要） 本校は、教育基本法の精神にのっとり、及び学校教育法に基づき、深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を育成することを目的とする。（学則第１条） 創造工学科は、工学分野共通の基礎を教育した上で、豊かで安全な未来を創造するための核となる専門分野とその周辺の知識と技術に関する実践的な教育を行い、豊かな人間性と自主性及び広い視野をもった人材を育成する。
卒業の認定に関する方針（公表方法：https://www.tomakomai-ct.ac.jp/outline/purpose/hondp）
（概要） 創造工学科では、工学的技術への興味・関心を高め、専門の基礎学力やコミュニケーション力を身につけるとともに、幅広い視点を持って自身のコアとなる専門分野を学ぶことのできる教育を進めます。こうした教育を通じて、グローバルな視野をもち、自ら学び考え、課題を発見し解決することのできる創造性・探究心豊かな人材を育成します。 また、4 学年からは各専門系を専門コースとフロンティアコースに分け、専門コースでは工学分野の深い知識を持った人材、フロンティアコースでは、工学的知識に加えてマネジメント感覚を持った人材を育成します。こうした人材を育成するため、以下のような能力を身につけ、所定の単位を修得した学生に対して、卒業を認定します。 修得する能力 ･実践的技術者に必要な科学的基礎知識（数理・データサイエンス・AI を含む）とリベラルアーツ ･各系の工学的専門基盤知識、および実験・実習および演習・実技を通してその知識を社会実装に応用・実践できる力 ･課題の本質を理解し、正しい倫理観のもとで、自分の意見を論理的に表現できる力 ･他者を理解・尊重し、協働できるコミュニケーション能力と人間力 ･国際的素養を有し、継続的に自ら学ぶ力
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：https://www.tomakomai-ct.ac.jp/outline/purpose/honcp）
（概要） ディプロマ・ポリシーに掲げた能力を育成するため、一般科目において自然科学および人文科学に関する基礎学力、情報処理能力を養うとともに、各専門系では、それぞれ、機械、都市・環境、応用化学・生物、電気電子、情報科学・工学に関する実践的基礎能力を培うための専門科目を配置します。また、高学年次では、各専門系を専門コースとフロンティアコースに別け、専門コースでは工学分野の深い知識を養うための専門科目を配置し、フロンティアコースでは、工学的知識に加えてマネジメント感覚を培うためのビジネス系基礎科目を配置します。
入学者の受入れに関する方針（公表方法：https://www.tomakomai-ct.ac.jp/outline/purpose/honap）

（概要）
　苫小牧高専は、豊かな人間性および自主自律の精神を育成し、技術者に必要な知・徳・体のバランスのとれた成長を促し、社会の発展のために活躍できる人材を育てるため、幅広い分野に関する基礎学力があり、勉学意欲が高い多様な資質を持った入学者を国内外から広く受け入れます。

学部等名　創造工学専攻

教育研究上の目的（公表方法：https://www.tomakomai-ct.ac.jp/outline/purpose/purpose1 , https://www.tomakomai-ct.ac.jp/outline/purpose/senpurpose）

（概要）
　本校は、教育基本法の精神にのっとり、及び学校教育法に基づき、深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を育成することを目的とする。（学則第１条）

　専門知識や技術を基礎とし、経営的知識をもって社会変化に柔軟に対応して、新しい分野でも活躍できる実践的・複合的能力を養成する。

卒業の認定に関する方針
（公表方法：https://www.tomakomai-ct.ac.jp/outline/purpose/sendp）

（概要）
創造工学専攻では、工学分野における専門的な知識と経営的知識に加え、豊かな人間性と教養及び広い視野を身につけるとともに、複数の視点で物事をとらえて新しい技術を創造する基礎力，地域や国際社会で活躍するための教養とコミュニケーション能力及び相互理解の精神を身につけた人材を養成します。こうした人材を養成するため、以下のような能力を身に付け、所定の単位を修得した学生に対して、修了を認定します。

修得する能力
- 豊かな人間性と教養および広い視野を身につけ、論理的に表現できる能力
- 専門基礎、工学分野における専門的な知識、演習・研究を通して、創造的に社会に役立てる能力
- 課題の本質を理解し、正しい倫理観のもとで、問題を解決する能力
- 地域や国際社会で活躍できるコミュニケーション能力、他者と協働する能力
- 経営的知識を身につけ、リーダーシップを発揮し、マネジメントを行う能力

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：https://www.tomakomai-ct.ac.jp/outline/purpose/sencp）

（概要）
　ディプロマ・ポリシーに掲げた能力を育成するため、一般科目においては、豊かな人間性と教養及び広い視野を身につけるとともに、専門教育では、機械、都市・環境、応用化学・生物、情報エレクトロニクスに関する実践的応用能力を培うための専門科目を配置する。
　専攻科では、国際社会で活躍できる素養、経営的知識、コミュニケーション能力、リーダーシップ、および判断力を備えた人材を養成するために必要な科目を体系的に配置したカリキュラムにより、以下の教育目標に沿った教育課程を編成する。

1. 豊かな人間性と教養および広い視野を身につけ、論理的に表現できるように
「総合英語Ⅰ～Ⅱ」「人文社会科学特論Ⅰ～Ⅲ」において、講義を主とした学修方法を展開する。
2. 専門基礎、工学分野における専門的な知識、および演習・研究での実践経験を創造的に社会に役立てる力を身につけられるように

(1).「数理科学特論Ⅰ～Ⅳ」において、講義を主とした学修方法を展開する。
(2). 専門科目、および専門選択科目において、講義を主とした学修方法を展開する（詳細は以下の説明で示す）
(3).「特別研究Ⅰ～Ⅱ」「特別演習」において、演習・研究を主とした科目を展開する。

【系ごとの専門科目】
機械系：「応用力学特論」、「流体力学」、「寒地環境工学特論」、「機械材料工学」、「エネルギー変換工学特論」、「品質システム工学」
都市・環境系：「応用力学特論」、「流体力学」、「地盤工学特論」、「計画学特論」、「維持管理学」、「防災工学」
応用化学・生物系：「有機化学特論」、「無機・分析化学特論」、「生物工学特論」、「物理化学特論」、「プロセスエンジニアリング」、「環境科学」
情報エレクトロニクス系：「電気工学特論」、「情報学特論」、「情報メディア工学」、「応用計測工学」、「電子工学特論」、「組込みネットワーク設計」、「人工知能概論」、「プロジェクトマネジメント」

【専門選択科目】
「品質システム工学」、「防災工学」、「環境科学」、「プロジェクトマネジメント」

3. 問題の本質を理解し、正しい倫理観のもとで、課題を解決する能力を身につけられるように
(1).専門４コースでは「マネジメント演習」において、地域企業との共同・協働教育を交えた学修方法を展開する。
(2).先端フロンティアコースでは「アントレプレナーシップ演習」において、地域企業との共同・協働教育を交えた学修方法を展開する。
(3).「特別研究Ⅰ～Ⅱ」において、自主的な学修・研究を展開する。

4. 地域や国際社会で活躍できるコミュニケーション能力、他者と協働する能力を身につけられるように
(1).「専門論文技法」「特別研究ゼミⅠ～Ⅱ」において、演習を主とした学修方法を展開する。
(2).「総合英語Ⅰ～Ⅱ」において、講義を主とした科目を展開する。
(3). 他者との協働・実務を経験するため「学外研修」を展開する。

5. 経営的知識を身につけ、リーダーシップを発揮し、マネジメントを行う能力を身につけられるように
(1).「マネジメント特論Ⅰ～Ⅱ」において、講義を主とした科目を展開する。
(2).専門４コースでは「マネジメント演習」において、地域企業との共同・協働教育を交えた学修方法を展開する。
(3).先端フロンティアコースでは「アントレプレナーシップ演習」において、地域企業との共同・協働教育を交えた学修方法を展開する。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：学生募集要項、https://www.tomakomai-ct.ac.jp/outline/purpose/senap）

（概要）
入学者選抜の基本方針は、苫小牧高専の教育理念に示された人材を育てるため、専攻科における入学者選抜では、工学の基礎を習得していることを重視します。また、学力と勉学意欲が高い多様な資質を持った入学者を選抜するため、学力選抜、推薦選抜、社会人特別選抜及び外国人留学生特別選抜を実施します。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：https://www.tomakomai-ct.ac.jp/outline/edu-info#sub2

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）

学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手その他	計
－	6 人	－					6 人
	－	28 人	30 人	3 人	7 人	人	68 人
	－	人	人	人	人	人	人

b. 教員数（兼務者）

学長・副学長	学長・副学長以外の教員	計
人	20 人	20 人

各教員の有する学位及び業績（教員データベース等）	公表方法：researchmap（https://researchmap.jp/）、国立高専研究情報ポータル（https://research.kosen-k.go.jp/）、e-Rad（https://www.e-rad.go.jp/）

c. ＦＤ（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

学部等名	入学定員(a)	入学者数(b)	b/a	収容定員(c)	在学生数(d)	d/c	編入学定員	編入学者数
創造工学科	200 人	203 人	102%	1000 人	1019 人	102%	若干人	7 人
合計	200 人	203 人	102%	1000 人	1019 人	102%	若干人	7 人
創造工学専攻	20 人	33 人	165%	40 人	54 人	135%	人	人
合計	20 人	33 人	165%	40 人	54 人	135%	人	人

（備考）
令和３年４月に電子・生産システム工学専攻および環境システム工学専攻から創造工学専攻に改組

b. 卒業者数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
創造工学科	176 人 (100%)	69 人 (39.2%)	102 人 (57.9%)	5 人 (2.9%)
合計	176 人 (100%)	69 人 (39.2%)	102 人 (57.9%)	5 人 (2.9%)
創造工学専攻	29 人 (100%)	7 人 (24.1%)	22 人 (75.9%)	0 人 (0%)
合計	29 人 (100%)	7 人 (24.1%)	22 人 (75.9%)	0 人 (0%)

（主な進学先・就職先）（任意記載事項）

（備考）

c.修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 （100％）	人 （　　％）	人 （　　％）	人 （　　％）	人 （　　％）
	人 （100％）	人 （　　％）	人 （　　％）	人 （　　％）	人 （　　％）
合計	人 （100％）	人 （　　％）	人 （　　％）	人 （　　％）	人 （　　％）
（備考）					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

（概要）
　教務委員会の指導の下、科目担当教員が授業計画（シラバス）を１１月～１２月頃作成し、１月頃ウェブ上で公開している。公開内容には授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準等の事項が含まれ、公開された内容に従って授業が進められている。
（再掲）

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

（概要）
　本校の卒業要件は学則並びに本校「学業成績の評価並びに課程の修了及び卒業の認定に関する規程」及び本校「専攻科の授業科目の履修に関する規程」において規定され、広く公表されている。（再掲）

学部名	学科名	卒業に必要となる単位数	ＧＰＡ制度の採用（任意記載事項）	履修単位の登録上限（任意記載事項）
	創造工学科	167 単位	有・無	単位
			有・無	単位
	創造工学専攻	62 単位	有・無	単位
			有・無	単位
ＧＰＡの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報（任意記載事項）		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：アクセス　https://www.tomakomai-ct.ac.jp/outline/access
　　　　　施設紹介　https://www.tomakomai-ct.ac.jp/facility

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 （年間）	入学金	その他	備考（任意記載事項）
	創造工学科	234,600 円	84,600 円	約 59,320 円 ～ 約 72,520 円	（内訳） ｽﾎﾟｰﾂ振興ｾﾝﾀｰ共済掛金 1,550 円 教科書代 約 20,000 円 教材・体育服等 18,100 円 学生会費 入会金 2,000 円 年会費 8,500 円 英語統一テスト代 630 円 ｽﾀﾃﾞｨｻﾌﾟﾘ 6,120 円 就活支援ブック 2,420 円 寄宿料（※） 7,700 円 入寮費（※） 2,000 円 寮生会費（※） 入会金 1,000 円 年会費 2,500 円 （※）は該当学生のみ
	創造工学専攻	234,600 円	84,600 円	約 14,550 円	（内訳） ｽﾎﾟｰﾂ振興ｾﾝﾀｰ共済掛金 1,550 円 教科書代 約 13,000 円

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a.学生の修学に係る支援に関する取組
（概要） 就学支援金、授業料減免、授業料免除、各種奨学金等の申請や手続きについて、随時学生、保護者に対して周知を行っている。
b.進路選択に係る支援に関する取組
（概要） 本校キャリア教育センターでは、求人情報・大学編入学募集に関する情報を取りまとめて学生に提供しているほか、進学・就職に係る各種ガイダンスや説明会を実施し、学生の進路選択を支援している。 また、低学年次からＯＢによる講演等を通じて、自身のキャリアデザインを考える授業を開設している。
c.学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
（概要） 保健室では、看護師２名（常勤１、非常勤１）が、学生の病気やケガに適宜対応できる体制となっている。 学生相談室では、８名の相談員のうち毎日３名が放課後に常駐して相談できる体制をとっているほか、外部カウンセラー４名、言語聴覚士１名が週１日来校し、学生へのカウンセリング等を行っている。また、年２回の「学生生活アンケート」に基づいた面談を実施している。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：https://www.tomakomai-ct.ac.jp/outline/edu-info